
ドローンレース北海道 ルール 2022 年版

練習

- 練習フライトは3~4回実施予定。(参加人数により変動有り)
- 事前に発表された組み合わせで2名~3名同時のフライトとする。
- 練習フライトタイムは各レースで事前に発表する。(基本的に90秒)
- スタート方式は、1機ずつ間隔を空けてスタートするスタッガースタート方式。
- スタートコール後、スタートゲート通過で計測開始となります。

予選

- 予選は2ラウンド行う。
- 2名~3名同時のレースとする。
- 予選フライトタイムは練習フライトと同じとする。
- スタート方式は、1機ずつ間隔を空けてスタートするスタッガースタート方式。
- スタートコール後、スタートゲート通過で計測開始となります。
- 計測開始から予選フライトタイム後に終了コールしますが、次の計測ゲートを通るまでが有効ラップとなります。
- 周回数の多いものが上位となる。同一周回数の場合は、通過タイムの速い選手が上位となる。

<例>

パイロットA：3ラップ 1分20秒

パイロットB：3ラップ 2分15秒

パイロットC：2ラップ 1分10秒

上記の場合、上からA、B、Cの順位となります。

- 予選の結果で決勝の組み合わせを決定する。

決勝

- 2名~3名同時のレースでスタート方式は、全機一斉にスタートするマススタート方式。
- 順位は規定ラップ数の総タイムで判定とする。ラップ数は当日発表とする。
- フライングは、該当ヒートのタイムなしとなる。
- 同一周回で複数機フライト不可となった場合はより遠くまでフライトしたものを勝者とする。
- 決勝は予選の上位から3名ずつAメイン、Bメイン、Cメイン… と振りわけける。
- 決勝レースの順番は下位メインからスタートし、最後にAメインとなる。
- Aメインのみ3ヒート制のポイント制で行い、Bメイン以下は1ヒートとする。
※Aメイン決勝のポイントは1位：5p、2位：3p、3位1p、DNF：0p

その他

1. 機体検査

- レース参加受付時に機体検査を実施します。(マシンサイズ、VTX 周波数・出力など)
- 機体検査時に無線免許やラジコン（ドローン）保険などの飛行資格の確認もしますので免許証など証明できるものを持参してください。
- 機体検査ではフェールセーフの動作チェックもしますので検査時プロポ・バッテリーを持参ください。

2. タイム計測

- 「I-Lap」もしくは「TinyViewPlus」を使用する。
「I-Lap」の場合はトランスポンダーを使用しますので必ずマシンに搭載してください。
- トランスポンダーをお持ちでない方には有償にて貸し出しします。
- トランスポンダーは左舷より送光するように取り付けてください。

3. コースマーシャル

- 前走を実施したパイロットは速やかにマーシャルに付くこと。
- マーシャルは、スタート前の機体のスタートグリッドへの準備、レース中は担当パイロットのマシンを監視、レース後は着陸・墜落した機体の回収を行います。

4. 失格

以下の場合はそのレースを失格とします。

- レギュレーションに合致しないマシンを使用した場合。
- 運営に無許可でマシン・VTX の電源投入、フライトを行った場合。
- 運営に無許可でコースに立ち上がった場合。
- 運営の指示に従わない場合。